

令和2年度 八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	3	類型	文系
単位数	3	教科書	新 探求現代文B (桐原書店)				
副教材	<input type="checkbox"/> 新訂総合国語便覧 (第一学習社) <input type="checkbox"/> 新現代文単語 (いっずな書店) <input type="checkbox"/> TOP 2500 (いっずな書店) <input type="checkbox"/> 大学入試古典頻出問題1200 (いっずな書店) <input type="checkbox"/> 現代文読解問題—標準編 (駿台文庫) <input type="checkbox"/> センター試験国語過去問題 (尚文出版) <input type="checkbox"/> 大学入学共通テスト演習現代文 (いっずな書店)						

学習目標	1.近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 2.近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 3.進んで表現し読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価		
			A	B	C
1 学 期	評論 『市民社会化する家族』 (今村仁司) 『オブジェとイメージ』 (高階秀爾) 小説 『愛のサーカス』 (別役 実)	<input type="checkbox"/> 筆者の問題意識を把握し、これからの家族のあり方を考える。 <input type="checkbox"/> 評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文章に即して的確に読み取る。 <input type="checkbox"/> 筆者の主張を踏まえて、自分自身が芸術に触れる際の感性を磨く。 <input type="checkbox"/> 小説に描かれた内容(言動・心理)を的確に理解して味わう。 <input type="checkbox"/> 物語の寓意性を考察し、様々な解釈の可能性を検討する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
2 学 期	評論 『詩人のふるさと』 (富岡多恵子) 『ポストモダンと排除社会』 (東 浩紀) 総合問題演習	<input type="checkbox"/> 一人の詩人の芸術的葛藤について論じた評論を読み、表現という行為の本質について理解を深める。 <input type="checkbox"/> ポストモダン社会をどのように生きていくか、自分の問題として捉える。 <input type="checkbox"/> 評論及び小説の問題に触れる中で思索を深めつつ、速読力と読解力を身につける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
3 学 期	総合問題演習	<input type="checkbox"/> さまざまな文章に触れる中で、新テストをはじめとしたあらゆるジャンルの文章に対応できるよう、総合的な国語力を身につける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

学習方法	<p>評論文においては、予習の段階で繰り返し読み、重要な箇所等には印や線を引いておく。筆者の意見とその根拠になる部分を探すために、話し合いを含めた言語活動を行う。小説では心情の読み取りに必要な要素を見つけ出す練習を反復する。週に1時間は演習の時間を設け、実践的な力をつける。</p>
評価方法	<p>課題の提出や単語テストによる評価2割程度、考査による評価8割程度で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階評価を行う。</p>